

ネットワークソフトウェア技術とその応用論文特集の発行にあたって

ネットワークソフトウェア技術とその応用論文特集編集委員会

委員長 末田 欣子



スマートフォンの爆発的な人気は衰えず、個人の保有率は5年前に比べておよそ4倍、トラフィックは5倍に増加している。ネットワークを介して、多くの情報が取得できるようになり、溢れている情報を活用する課題に対して、IoT (Internet of Things) やAI (Artificial Intelligence) などの最新技術を活用した便利な社会を目指す「Society 5.0」を実現するための研究開発が進められている。

このような社会動向を踏まえ、学会においてもネットワークソフトウェア技術の積極的な議論を行うことで、研究開発の促進に寄与する必要がある。「ネットワークシステム研究専門委員会」の下で活動している「ネットワークソフトウェア研究会」では、「ネットワークに関するソフトウェア一般」を対象としたネットワークソフトウェア技術に関する新しい研究課題の発掘や萌芽的な研究を中心として、発表時間より長い質疑、討論時間を設け、十分な議論を行うことを特徴としている。また、本研究会では、ネットワークソフトウェア技術に関する研究成果を広く研究者や技術者と共有する目的で、定期的に論文特集を企画している。本特集もその一環である。

本特集には、招待論文を含む合計10編の論文が投稿され、専門分野の編集委員、査読委員により厳正な査読、審議の結果、招待論文を含む4編の論文を採録した。招待論文は、ネットワークの異常検知に機械学習を適用することによるネットワークの障害対応の自動化をテーマとした論文であり、現状のネットワークに最新技術を適用している。またほかには、無線センサネットワークにおける経路構築手法や光アナログ伝送の設計要件を考慮した経路探索、Bluetooth MANETにおけるデータ転送に関する論文を掲載している。

最後に、本特集の発行にあたり、貴重な研究成果をまとめて御投稿頂いた執筆者の方々、御多忙の中、厳正な査読を行って頂いた査読委員の方々、査読委員との調整、結果の取りまとめを精力的に行って頂いた編集委員各位、出版に向けて正確かつ円滑な事務処理を行って頂いた本会事務局の方々に深謝の意を表します。

末田 欣子 (正員) 平5東京電機大・工・電子卒。平7同大大学院修士課程了。同年日本電信電話(株)入社。平30より明星大学情報学部准教授。ネットワークソフトウェア自動生成技術、コンテキストウェアネス技術、ネットワーク基盤技術の研究に従事。博士(工学)、情報処理学会会員、IEEE会員。

ネットワークソフトウェア技術とその応用論文特集編集委員会

委員長	末田 欣子
幹事	小島 英春・谷川 陽祐
委員	伊藤 篤・荻野 長生・北形 元・小松 潔
	新津 善弘・舟阪 淳一・水野 修・三宅 優